



Operation Guidance 操作ガイダンス





本書のご使用にあたって

本操作ガイダンスは、主に初めて本製品を利用する方を対象に操作の流れに沿って、操作、入力、処理方法を説明したものです。

ご利用にあたって

ご使用製品のバージョンは、製品「ヘルプ」のバージョン情報よりご確認下さい。 本書は、表紙に掲載のバージョンにより、ご説明しています。 最新バージョンでない場合もございます。ご了承下さい。

本製品及び本書のご使用による貴社の金銭上の損害及び逸失利益または、第三者からのいかなる請求についても、弊社は、その責任を一切負いませんので、あらかじめご了承下さい。 製品のご使用については、「使用権許諾契約書」が設けられています。

※掲載されている各社名、各社製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

© 2010 FORUM8 Co., Ltd. All rights reserved.

目次

| 5 | 第1章 製品概要 |
|--------|------------------------|
| 5 6 | 1 プログラム概要 2 フローチャート |
| 7 | 第2章 操作ガイダンス |
| 7 | 1 モデルを作成する |
| 8 | 2 橋梁情報入力 |
| 8 | 2-1 基本条件 |
| 11 | 2-2 構造体1 |
| 15 | 3 ファイルを保存する |
| 16 | 4 図面作成_損傷展開図作図 |
| 17 | 5 図面作成_損傷/旗揚げ作図 |
| 21 | 6 調書作成 |
| 21 | 6-1 橋梁諸元(様式1) |
| 21 | 6-2 調査結果(様式2) |
| 22 | 6-3 損傷図 |
| 23 | 7 写真管理 |
| 26 | 8 調書出力 |
| 29 | 9 3DView |
| | |

30 第3章 Q&A

第1章 製品概要

1 プログラム概要

概要

本製品は、専用のCAD機能を備え、橋梁点検に必要な調査図面(損傷図展開図)や点検結果による損傷状況を記録した損 傷図を作画し、図面上に作画した損傷情報を自動抽出することで、「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)(平成19年5 月)版」(国土交通省・国土技術政策総合研究所)に示された点検調書を作成する橋梁点検支援システムです。

適用要領

道路橋に関する基礎データ収集要領(案)(平成19年5月)版 国土交通省・国土技術政策総合研究所

適用構造

| 上部構造 | コンクリート橋 | 床版橋、T桁橋、I桁橋、箱桁橋 |
|------|---------|-------------------|
| | 鋼橋 | 鈑桁橋、箱桁橋、トラス橋、アーチ橋 |
| 下部構造 | 橋台 | 重力式、逆T式 |
| | 橋脚 | 壁式、張出式、柱式、ラーメン式 |

操作手順

入力項目ツリーに従って操作を行います。

1) 点検を行う橋梁の構造形式、構成、構造寸法を入力します

2) 入力情報により点検に必要な橋梁展開図(損傷展開図)を自動生成します。

※径間ごとの「桁下図」「橋面図」「下部工図」を作図します。

※生成図面は橋梁点検支援システムの2次元CAD機能にて表示しますので、確認・編集を行い、点検時に持参する損傷展 開図を印刷します。

3) 橋梁点検を行った情報を基に損傷図を作図します。

※生成した図面に2次元CAD機能「損傷図」および「損傷旗揚げ」を作図します。

4)入力(基本情報)から「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)(平成19年5月)版」(国土交通省・国土技術政策総合研究所)に示された調書「様式1」の作成・印刷を行います。

5)作図した「損傷旗揚げ」から損傷情報を収集し「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)(平成19年5月)版」(国土交通省・国土技術政策総合研究所)に示された調書「様式2」の作成・印刷を行います。

※損傷情報の追加・削除機能を備えていますので、図面生成および損傷旗揚げ作図を行わない場合でも調書「様式2」を作成できます。

6) 作図した損傷図の印刷を行います。

オプション機能

7) 点検時に撮影した現場写真・損傷写真の管理を写真管理ツールにて行えます。

8) 橋梁を3次元で表示し構造を確認することができます。



第2章 操作ガイダンス

1 モデルを作成する

使用サンプルデータ:「Sample1_2径間鋼板桁.F6B」

| 構造体数 | 1 |
|------|-------------------|
| 径間数 | 2 |
| 上部工 | 鋼橋-鈑桁橋 |
| 下部工 | 逆T式橋台、張出式 (矩形) 橋脚 |



■各入力項目の詳細については製品の【ヘルプ】をご覧ください。

2 橋梁情報入力

プログラムを起動し、点検を行う橋梁情報を入力します。

入力ツリーが表示されますので、各項目を選択することで入力画面を開き、データの確認・修正を行ってください。



2-1 基本条件

基本条件を設定します。







橋梁諸元

供用開始日、活荷重・等級、適用示方書、上部構造形式、下 部構造形式を入力します。 ※入力がグレーの項目は、構造体・支間構成/路面形状画面

※人力かりレーの項目は、構造体・又間構成/路面形状画面 で入力された寸法を表示します。

| 供用開始日 | 2008/ | 10/7 |
|-------------|---------|-----------|
| 活荷重・等級 | TL-20 | 1等橋 |
| 適用示方書 | 大正15年道路 | 路構造に関する |
| | 細則 | 案 |
| 上部構造形式 | 鋼鈑 | 祊行 |
| 下部構造形式 | 逆T式 | 橋台 |
| 基礎形式 | 場所打ち | 杭基礎 |
| 交通条件 | 調査年 | 1980 (55) |
| | 交通量 (台) | 5,000 |
| | 交通量単位 | 昼間12時間 |
| | 大型車混入率 | 20~30 |
| | 荷重制限 | 無 |
| 海岸からの距離(km) | 10 | 0 |
| 緊急輸送路の指定 | 無 | t. |
| 優先確保ルートの指定 | 無 | ŧ |
| 路下条件 | 河川 | |

「適用」ボタンで画面を閉じます。





構造体.支間構成

構造体数、径間数、支間長、下部構造・斜角・支承条件、平面 形状を入力します。

構造体数 : 1

橋長 : 59.200m ※「橋長設定」ボタンを押下すると入力した橋長 (径間の合 計)を再計算し表示します。 径間数 : 2

構造体番号 : 構造体1

支間長

| | 長さ (m) |
|----------------|--------|
| 起点側桁張出長+遊間 | 0.600 |
| 第1径間目支間長 | 26.000 |
| 第2径間目支間長 | 32.000 |
| 終点側桁張出長+遊間 | 0.600 |
| 下が掛洗, 创み, 士丞々供 | |

下部構造・斜角・支承条件 下部構造形式 斜角 (左側) 支承条件

| A1 | 橋台 | 90.00 | 可動 (M) |
|----|----|-------|--------|
| P1 | 橋脚 | 90.00 | 固定 (F) |
| A2 | 橋台 | 90.00 | 可動 (M) |
| | | | |

平面形状 : 直線橋

※「プレビュー」ボタンで支間構成図が確認可能です。





路面形状

左地覆・左歩道・左車道・中央分離帯・右車道・右歩道・右地 覆の有無と幅員を入力します。

| 路面 | 幅員(m) | 車線数 |
|-----------|-------|-----|
| 左地覆 | 0.6 | |
| 左歩道 | | |
| 左車道(一方通行) | 2.750 | 1 |
| 中央帯 | | |
| 右車道 | 2.750 | 1 |
| 右歩道 | 1.500 | |
| 右地覆 | 0.400 | |

※「総幅員確認」ボタンを押下すると入力した幅員の合計を 再計算し表示します。

確認メッセージは「はい」を選択して、進みます。

| マイル(F) 基本様(B) ヘルプ(H) | | | | | | | |
|--|------------------------------|------------------------------------|------------------------------|--|-----------------|-------------|---|
| 通モードの運動 | | | | | | | |
| SRE-F-10/388 ● 現在地域 ● 現在地域 ● 現在地域 - 現在地 - 用 - 用 - 用 - 用 - 用 - 用 - 用 - 用 | 全体回れ C ーン C 構造 で 短期 | 出力発電 の構築で全体 体ごとに全体 ごとに全体団 | 回きーつだけ出力す 回き出力する を出力する | 5 | | | |
| →上部構造形式寸法 ③上部構造地設 ④ 第1/注意用 - 検和1758構・経相 | | | ※入力量でファイが ※入力量でマウス | い名をダブルクリックするとうしど、 を置き、右クリックすると「制命」可 | -#FL27. 877. | 1000 A. | |
| S MATTER | SRUETWISE. | Unew-s | | 11122/11/ | | - 1021/11/2 | - |
| 上快播一下快播 | 1 | | 80. | | | | |
| - 支承 - 芝康 - 田田2.9イル | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

一般図画像ファイル

調書プレビューの橋梁諸元(様式1)に表記する「一般図」 「全体図」の画像を指定します。

全体図の出力指定: 径間ごとに全体図を出力する 各径間ごとのファイルを選択します。

| 径間番号 | 全体図ファイル | 一般図ファイル |
|------|----------|---------|
| 1 | 全体図1.bmp | 一般図.bmp |
| 2 | 全体図2.bmp | 一般図.bmp |

「開く」ボタンをクリックし、指定ファイルを選択します。



2-2 構造体1





上部構造形式寸法

上部構造および形式を選択します。 上部構造 : 鋼桁 形式 : RC床版

| 主桁本数 (N) | 4本 |
|-------------|---------|
| 左床版張出長 (L1) | 1.025 m |
| 右床版張出長 (R1) | 1.025 m |
| 腹板高さ (H) | 2.000 m |

※「プレビュー」ボタンで上部構造の断面形状が確認可能で す。

| アイル(E) 基準値(B) ヘルプ(H) | | | | | |
|---|---|------------------------------------|----------------------------|-------|--|
| 理モードの理訳 | | | | | |
| Sanobi 20世際規約 ○ 読度構造 ○ 表示点件 - 実活体目 - 実活体目 - 構造性・支援機成 - 取用系统 | 株街-71線構分書類約(NB) ※中間:2005-71線構成5(m):44,5(分割(支配中央)に1本の4年3(分割=2)と入: 株街・71線構築室 (株街・71線構築室) | 5 分割 t=1」と入力し; かします。 縦相位置 | ます。 (主形本数 4 本) | | |
| —— 股份/全体因断统 | ACCEL ANDRE | 103 | 著目衍香号 | 比率 | |
| 一上却構造形式で活 | 1000 E.97 | 1 | | 0.000 | |
| 8 LIF# 31412 | 1 226848 | 2 | | 0.000 | |
| [秋秋]-20144(第-82/4)] | 2 75488 | | | 0.000 | |
| - 上秋城-下秋橋 | 3 (88) | 5 | | 0.000 | |
| | 4 8885 | 6 | | 0.000 | |
| · 上初編· F初編 | 5 276848 | 2 | | 0.000 | |
| - 10 B(A1) | 1 | | | 0.000 | |
| -2010/10 -3018(A2) | - | 9 | | 0.000 | |
| - 支承 (1)第2カイル | NR-tra BIRONR + | 10 | 0 | 0.000 | |
| © 136 | | | | | |
| - 100000002011020 | ABANA PARAMA | | | | |
| ● 2478 - 構造決計式(相欠り) - 構造決計式(相欠り) - 存在目前 - 存在目前 - 同い社会 | 1)第目前着きを入力し、次の主形まで 所用目前着きな力し、比率は540また。 2)比率にマイナスが行けると、裏目前の | 的國際豐位豐之1 目前32主新32 外傳出設置す | 1997年1月1日 中央:1月1日 5. | 6. | |
| | 通用 取楽(原す) 2 へいつ | rod | | | |

第1径間目:横桁・対傾構・縦桁

横桁• 対傾構分割数 (NB) : 5

横桁・対傾構指定(割振り指定)、縦桁位置を入力します。

| 位置 | 区分 |
|----|-----|
| 1 | 対傾構 |
| 2 | 対傾構 |
| 3 | 横桁 |
| 4 | 横桁 |
| 5 | 対個構 |





| Sample 1_22智調與版前 曰: 調查講梁 曰: 墨本条件 — 葉為情報 — 構设諸元 | 検桁・対体構分割数(NB) ※中間に検桁・対体構が無しゅう「分 支間中央」こ1本の4句は「分割=2」と | ⁶ 分割 開数=1」と入力し 入力します。 | 17. | |
|--|---|--|----------------------------|-------|
| -構造体·支間構成 | 横桁・対線構指定 | 統桁位置 | (主桁本数 4 本) | |
| 一般区/全体图画像 | 亚代伯 至73年66 | 1028 | 着目衔番号 | 比率 |
| 日構造体1 ト部構造形式寸法 | 位置区分 | 1 | 0 | 0.000 |
| □ 上部構造施設 | 1 対映構 | 2 | 0 | 0.000 |
| ●·弗昭間目 一種桁・対価構・解析 | 2 対候構 | 3 | 0 | 0.000 |
| 上横稿·下横橋 | 3 2寸4時構 | 4 | 0 | 0.000 |
| 腰桁・対線構・縦桁 | 4 神符 | 5 | 0 | 0.000 |
| 上 技構·下機構 | 5 220828 | 6 | 0 | 0.000 |
| -1#E(A1) | | / | | 0.000 |
| - 2書目(P1) - 3番目(A2) | 0 315818 | 0 | | 0.000 |
| 一支承 | 7 2寸4県福 | 10 | 0 | 0.000 |
| - 4典论称元(補充1) - 国西省编辑(2) - 资源管理 - 3DView | ※比率入方法 1)適目報告考5人力に、決切注付通 他:酒目相告考5(2)、比率(6500) 2)比率にマイナスを付けると、酒目4 | での【録量位置/: は、主桁3と主桁3の 前の外側に設置す | 主新開建)を入力す。 中央に設置。 5。 | 5. |
| | | | | |

第1径間目:上横構·下横構

主桁・横桁毎に配置する横構のパタンを指定します。 下横構

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-----|---|---|---|---|---|
| G1- | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| G2- | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| G3- | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |

※「プレビュー」 ボタンで入力した横構の配置状態を表示します。

第2径間目:横桁・対傾構・縦桁

横桁・対傾構分割数、横桁・対傾構指定(割振り指定)、縦桁 位置の入力値を確認後、「適用」ボタンをクリックします。 変更が必要な場合は第1径間目と同様に入力、確認を行って ください。

ここではこのまま更新します。

横桁·対傾構分割数 (NB) : 6

| 位置 | 区分 |
|----|-----|
| 1 | 対傾構 |
| 2 | 対傾構 |
| 3 | 対傾構 |
| 4 | 横桁 |
| 5 | 対傾構 |
| 6 | 対傾構 |
| 7 | 対傾構 |







第2径間目:上横構·下横構

下横構

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-----|---|---|---|---|---|
| G1- | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| G2- | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| G3- | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |

下部構造寸法

下部工(橋台・橋脚)の形式、材質、構造寸法を入力します。

1番目 (A1)-橋台

| | 1番目:A1橋台 |
|-----|--------------|
| 形式 | 逆T式 |
| 材質 | コンクリート |
| 要素 | 胸壁、竪壁、フーチング、 |
| 翼壁 | |
| 寸法値 | デフォルトを使用 |

内容確認、変更後「適用」ボタンをクリックします。

※「プレビュー」ボタンで下部工の平面・正面・側面形状が確認可能です。

※「詳細データ」ボタンで盛土内の詳細な入力項目を黄色で 表示します。



| | (D1) | |
|-----|------|----------|
| | | 1-林舎 ��川 |
| ~ = | | |

| | 2番目:P1橋脚 |
|--------|----------------------|
| 形式 | 張出式(矩形) |
| 材質 | コンクリート |
| 要素 | 梁部、柱部・壁部、 |
| 翼壁 | フーチング |
| 寸法値 | デフォルトを使用 |
| 確認後、「適 | [用」 ボタンをクリックします。 |

 ・通 機能高級支援システム(国総研防)Sample1_2徑壁鋼振行:F68
 ファイル(E) 基準値(E) ヘルプ(H)
 ・ 60 - 2010 - 2 1022リード 三 構造形式: Ar ple1_2団 調査構業 形式 逆Ta × 119 A1例:右 A2例:左 質 BL BL 1 [ML/MR 瞬日線 н н * 後期間日 作回 後/原期子作回 □ S型 P数 「供給でかれ P フ・ 22巻 単位 - - 42 07 m 1333 80. n 1333 10 m 1533 10 m 1333 10 m 1335 10 m 1355 10 ● 構造論元(相式1)
 ● 構造論元(相式2)
 ● 構造論元(相式2)
 ● 構造論元(相式2)
 ■ 構造論元(相式2)
 ■ 構造論元(相式2)
 ■ 構造論元(相式2) 「プレビュー」 図 課時データ 波向 吉広市 原設用 原設用
 2一下ジネ
 10
 10
 10

 二
 二
 二
 100

 第6支流
 11
 6
 111

 二
 二
 二
 二
 100

 第6支流
 11
 6
 111
 111

 五山県 ひろあ、
 10
 6
 111
 111

 五山県 ひああ、
 100
 111
 111
 111

 五山県 ひああ、
 100
 111
 111
 111

 百姓芝和 他
 100
 111
 111
 111

 百姓芝和 他
 100
 100
 100
 100
 100

 百姓芝和 他
 100
 100
 100
 100
 100
 100

 百姓芝和 他
 100
 100
 100
 100
 100
 100
 100
 100
 100
 100
 100
 100
 <t
 No.
 No.</th

3番目 (A2)-橋台

| | 3番目:A2橋台 |
|-----|--------------|
| 形式 | 逆T式 |
| 材質 | コンクリート |
| 要素 | 胸壁、竪壁、フーチング、 |
| 翼壁 | 翼壁 |
| 寸法値 | デフォルトを使用 |
| | |

確認後、「適用」 ボタンをクリックします。



支承

支承の形式、配置位置を入力します。 ここでの変更点はありません。 「適用」 ボタンをクリックし更新します。

| □ 損傷/減揚げ作回 □ 回象 | | E | | |
|--|---|---|---|--|
| - 構造設元(新元)) - 同志監案(新元2) - 資産管理 | - 構築諸元(様式1) - 調査結果(様式2) - 指係回 - 写真管理 | - | < | |

図面スタイル

調書枠線の有無、下部構造図の作図方法、損傷展開図に作図 する桁下図、橋面図、下部工図の作図エリアに対する割合を 入力します。

調書枠線 : 有り 下部構造図で地盤線/水位線以下を作図する : する 地盤線/水位線の記号 : 地盤線 橋面図・桁下面図の図形尺度 : 80% 橋台・橋脚図の図形尺度 : 100%

確認し「適用」ボタンをクリックします。

3 ファイルを保存する



-ファイルメニューから、「名前を付けて保存」を選択し、必要に 応じてデータ保存が可能です。 また、既存データを「上書き保存」にて書きかえることも可能で

す。



・保存する場所

(デスクトップ、指定フォルダ、SampleDataフォルダ等 任意 で選択可能)

・ファイル名 (任意のファイル名を入力可能)

 ※橋梁諸元データを中心に点検データを「橋梁長寿命化プロ グラム」へ連携できます。
 (Q3参照)
 https://www.forum8.co.jp/faq/win/koku-bridgemetenance.
 htm#q3

4 図面作成_損傷展開図作図





橋梁情報から現地調査に持参する損傷展開図を作図しま す。

確認メッセージが表示されます。 「OK」で進みます。

画面が展開し、図面が表示されます。

※背景色の変更は 設定→色設定→背景色の手順で変更可能です。

| | 2 RAMAY (/ 19 Ref + Haum 2) | 「損傷展開図印刷」ボタンをクリックして図面を印刷します。 「橋梁点検ウィンドウ」にて、表示図面を切替え、作図の確認 を行い各図面を印刷してください。 |
|---|------------------------------|---|
| 380 201 380(T-T) 80(T-T) 380(T-T) 80(T-T) | | |

5 図面作成_損傷/旗揚げ作図



損傷/旗揚げ作図を選択します。 確認メッセージが表示されます。 「OK」で進みます。

図面が表示されます。

ウィンドウから記載すべき図面を選び、調査結果をもとに損 傷図を作成します。 ここでは「橋面の損傷状況」を例として進めます。



ウィンドウから【図面ファイル:新規-1-2-橋.pss】を選択して ください。

| 🚽 🚅 🖓 🖝 STR (主義道物所形成) | ・・・ ・・・ ・・・ | • 日間 接触レイヤ | BREGU . | 検索系統ウインドウ | aplel_2@@@@00112 • |
|-----------------------|---|------------|---------|--|--------------------|
| | | | | Same (1) Same (1) | |
| | | | | | |

損傷状況を作図します。

パターンメニューから作図したい形状パターンを選択し、 作図画面上でカーソルを移動させ作画していきます。 右クリックで[決定・キャンセル]を実行します。

──ここでは損傷パターンから「その他」、 ──作図形状で「任意」を選択し、 ──損傷箇所を描写します。

──損傷旗揚げ作図ボタンをクリックし、 ___図面上の部材名を選択します。 部材が選択された状態(ピンク文字)で、再度旗揚げ作図ボ タンをクリックします。

※部材ボタン、部材番号を指定することで損傷旗揚げ情報設 定画面を表示することも可能です

[橋梁点検設定]にて損傷パターンの登録・編集をが可能です。

(Q14参照)

https://www.forum8.co.jp/faq/win/koku-bridgemetenance. htm#q14

損傷旗揚げ情報設定画面が表示されます。

損傷種類を選択し、表示されたパネルに損傷の程度情報を 書き込みます。

ここでは、 10.路面の凹凸を選択し、

下記パネルに状況を入力してください。 →20mm程度以上(走行に支障があり、明らかなわかる程 度)の段差がある →コメントの追加:コメントoxoxoxox

「適用」ボタンをクリックします。



18 18 (E Mar)

| | | | 0 | 4 | | | | | | b | • | d | | | | | | |
|----------------------------|-----|----|-------|-----|-----|----------|----|----------------------------|--------------------|---------------|-----------------|-----|------|---|-----|---|--------------------------|---|
| I.E.R. | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 消费 | SPCIERSION R | - | - | - | - | - | 0 | 38 | | | |
| 2852 | - | - | - | - | - | 0 | 满贵 | 112050000 | - | - | - | - | - | ٠ | 3AS | | | |
| ISALORS . | - | - | - | - | - | 0 | 消费 | 1128058282 | - | - | - | - | - | 0 | 345 | | | |
| LARE | - | - | - | - | - | 0 | 消费 | 12 THILD BUT | - | - | - | - | - | 0 | 满意 | | | |
| 100R0h-28-88658 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 消费 | XAD | 1 | _ | | _ | | - | | | | |
| IDER: | - | - | - | - | - | 0 | 消费 | ※写真書号を規定入力する 連邦です。 デモル、 | 4012.1 | ti.s | | 2.9 | sτ | | | | | |
| 181235 | - | - | - | - | - | 0 | 消费 | ANDONCTORS | | | | | | | | | 100 CO. 10 CO. 10 CO. 10 | - |
| LEBOORD . | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 消费 | IN MARKE HIT/(Abusta)/ | 61012.0 (8.8.8) | aber I. Di | 6437) (1124) | 22 | 1.04 | | | | | |
| ※登録した写真ファイルを用 (第22×15歳前 | 175 | 40 | (J. 2 | 157 | 619 | S. R. P. | | わっクざ 済金」を開けしてい | | _ | | | | | | / | | |



| 損傷旗上げ情報 | × |
|---|---|
| 損傷旗上げ情報内容 | |
| 路面01 : ①路面の凹凸 -有 コメントoxoxoxox | 4 |
| | |
| | - |
| | |
| 改行:「Ctrl」+「Enter」 特殊文字:「Ctrl」+「S」 | |
| ■ 「「「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「 | 消 |

00 000 1 (2倍型網絡粉-1-2-株 (2) 計用(2) 設定 (数字(D) S 38時ず、3時後に 一日9.25 F2 Sapiel_2000001-1-2 -Distant. 187.614 1 日日 關於法律 植物植物疗实现 **X**4 第411 7へんざ(B) 111 *928 Histop の適売状 ※ 任意形 C 小利用 C 和円形 C 円形 ×* *#8:19363 100 -0000-F #875-F B #7 890X.Y 0 0 C 164402. T 1024044

プレビュー画面が表示されます。

確認後、「確定」ボタンをクリックします。

カーソルを移動させ、旗揚げの位置を指定、確定します。

1点目:旗揚げ矢印部の先をクリックします。 2点目:矢印部の終点をクリックします。 3点目:引出し部の方向を決める3点目をクリックします。 ※ESCキーで作業を戻すことが可能です。

損傷旗揚げ情報を確認し「確定」をクリックします。

これで、ひとつの旗揚げの作図終了です。 同様の手順で、調査結果を作図していきます。

※写真ファイル登録から、任意の場所に保存された画像ファイルを読み込みます。



| 橋梁点検 | | × |
|-----------|-----------|-----------------|
| ? 作画を終了し、 | 入力へ戻してよろし | いですか? |
| | (\$U)(Y) | いいえ(<u>N</u>) |

| 損傷展開[| 図(損傷/旗揚げ図面)の保存 |
|--------|----------------|
| 新規-1-3 | 2-117.pss |
| | 14% |
| | ▲ 中止 |

- 「作業終了」 ボタンをクリックします。 損傷展開図の保存を完了し、作図を終了します。

6 調書作成

6-1 橋梁諸元(様式1)



「橋梁諸元 (様式1)」を選択します。 入力した橋梁情報を反映した「橋梁諸元 (様式1)」のプレ ビュー画面が表示されます。

このまま印刷を行う場合は

「「印刷」 ボタンをクリックしてください。

F8 出力編集ツールはFORUM8製品から出力されたデータを プレビュー、印刷、他のファイル形式への保存を行うことがで きます。

6-2 調査結果(様式2)

| 構造体番号 | 经营业号 | 部村種別 | 部村番号 | 措施の種類 | 損傷程度評価 | ひびわれ番号 | |
|--|--------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---|---|------------|----|
| 1 | 1 | 主桁 | 01 | ①腐食 | a | 2 C | |
| ji | sto | ※遺傳情報5例 ※部材番号を連 | 除する場合は、i 切に入力しない | 明確したい行にフォーカス と、出力する調査結果表に | を合わせ、DeleteK に反映されません。 | のを押下して下 | au |
| | | 存在する部材 ※下部工の部材 例えば総理M | 参与を半角で、 1番号は構造体制 数がらの場合、 | 01、101のように人力して 反や短期期にかかわらず5 下部工の部材番号は101、 | C下さい。 直動になります。 1021/031/041/051/0 | 61こなります。 | |
| 81646 | | | | | | | - |
| 構造体委号 | 征間番号 | 部材種別 | 部材香号 | 損傷の種類 | 損傷程度評価 | ひびわれ番号 | 1 |
| 1 | 1 | 支承 | 101 | ①支承の機能障害 | 有 | | 2 |
| 1 | 1 | 主桁 | 01 | ଦ ୩ସ | 有 | | |
| 1 | 1 | 探護長 | 02 | ③床頭ひびわれ | ь | | |
| 1 | 1 | 主桁 | 01 | ①居食 | ь | | |
| 1 | 1 | 主相 | 03 | GARRES | 有 | | |
| 1 | 1 | 探護長 | 04 | の原語でなわれ | c | | - |
| 編集情報(| 潮泉 | 回臺情報から取得 | ※損傷情 | 職は表中の値を変更する、 | とにより、編集する | ことができます | |
| の出力設定 | | | | | | | |
| 構築情報の作 | ott | | | 損傷程度評価表の設 | te | | |
| * 調査結果 | に構実情報の | erthol.cal a | | □ 損傷がない項目 | は、「無」あるいは「 | 」と記述する | |
| C 調査結果 C 単行 C 単行 の (1) (1) | に構築価額 1の信間のみ にとに表示 | 行加する に表示する(一つの様 する | 「までーつ) | に 計画対象では | a, wijelici/je表示 | だする | |

「調査結果(様式2)」を選択します。 損傷展開図に作図した損傷情報を収集した「損傷情報」のプレビュー画面が表示されます。

要に応じて、損傷情報の確認、追加、調書の出力設定を行い - 「プレビュー」ボタンをクリックします。

(様式1)と同様にF8出力編集ツールが起動します。 表示切替、ソース編集が可能です

「印刷」ボタンから印刷実行してください。

6-3 損傷図



「損傷図」を選択します。 確認画面が表示されます。 「OK」ボタンをクリックしてください。

図面印刷 X -ブリンタ-_____ DocuCentre-IV C2260 (1) マ プリンタの用紙サイズに縮小/拡大する オフセット―― 部数指定 (1~99枚)-右方向: 0.0 🔶 mm 100.0 🜩 % 1 불 枚 Г 上方向: 0.0 🍨 mm 朱書き印刷ー (-2000.0~2000.0)mm 〇行う ◎ 行わない 円・円弧の出力方法一 ◎ 円・円弧として出力 ◎ スブライン曲線として出力 枠線の有無 図面分割選択-● 1枚1図形 ○ 1枚2図形 ⓒ あり ○ なし 図面一覧 〈反転表示で印刷〉 Sample1 2径間鋼扳桁-1-1桁.PSS:図面 Sample1 2径間鋼扳桁-1-2-桁.PSS:図面 Sample1 2径間鋼扳桁-1-2-桁.PSS:図面 <u>Sample1.24音音波频行-1-2-落.PSS1図面</u>) Sample1_2径間鋼鈑桁-1-1-下.PSS:図面 Sample1_2径間鋼鈑桁-1-2-下.PSS:図面 Sample1_2径間鋼鈑桁-1-3-下.PSS:図面1 ブレビュー表示 🧏 設定.... 🗸 確定 🗶 取消 🛛 📍 🚺 ? (IJ)

図面印刷画面が表示されます。 現在作業中の図面が一覧表示されますので、印刷する図面を 選択し、印刷図面の設定を行い、 「プレビュー表示」 ボタンをクリックします。



印刷プレビュー画面が表示されます。 _ 「印刷実行」 ボタンで印刷実行をおこないます。

7 写真管理

| * 月毎日増少ール ファイル(F) 表示(V) オブション(0) ヘルプ(H) □ 谷 日 自 私 【 ? ? | |
|--|-------------------|
| 入力項目は 写真管理ソール | <u>刈ません</u> □□ |
| ¥ 理 | |

「写真管理」を選択しますと、写真管理ツールが起動します。

新規入力を選択し、確定ボタンをクリックします。

※写真データについては、損傷旗揚げ時に 登録しておいてく ださい。

| 新規作成データ | 7基準選択 | X |
|---------|--------------------|---|
| 省庁など: | 国土交通省 | Ŧ |
| 基準: | 橘梁定期点検要領(案) 国土交通省版 | Ŧ |
| 年月: | 平成16年03月 | • |
| データタイプ: | | • |
| | 現地状況写真 損傷写真 | |

データタイプを選択します。

現地状況写真: 点検調書 (その3) 損傷写真: 点検調書 (その6)

| 😼 写真管理ツール - 新規データ (国交 | 省 損傷写真 | H16.03) | | | |
|--|---------------------------|------------------|----|--|--|
| ファイル(E) 表示(Y) 橋梁点検システムに戻る(B) オプション(Q) ヘルプ(日) | | | | | |
| D 🗃 🖬 🖻 🖌 🗃 🤶 📦 | | | | | |
| □ 〒 写真データ ■ NDEX |] =2- | ・ファイル情報 | | | |
| 調書名 | 3: | 点検調書(その6) 損傷写真 | Â. | | |
| 橋梁キ | ら(フリガナ): | FORUMB | | | |
| 橘梁名 | 6: | FORUMB構 | | | |
| 所在地 | 他(自): | ??県???郡??町 | = | | |
| 所在地 | 也(至): | ??県???郡??町 | | | |
| 路線調 | Z: | 県道フォーラム線 | | | |
| 定日期目的 | 剽(自): | 百米標163.2km+距離55m | | | |
| 2日為第4 | 夏(至): | 百米標163.2km+距離77m | | | |
| **** | è傭局: | 関東 | | | |
| ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~ | 東部大司所・ | 「東京家族 | * | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| INDEX | | | | | |

写真データのINDEXから業務情報を確認、選択し、 損傷図から損傷情報を取得します。

橋梁点検システム(BISDraw)で作成した損傷図ファイル(*.pss) から部材や損傷の情報などを取得して、写真管理情報にセット します。

| 損傷図ファイル(*.pss)の選択 | × |
|--|-------|
| 損傷図ファイル(*pss)の選択 | |
| CMProgram Files (X80)#FORUM % BibDraw 2K3ample/TYFE1(5)-1-1-于指微因pss CMProgram Files (X80)#FORUM % BibDraw 2K3ample/TYFE1(5)-1-1-指指微Dpss CMProgram Files (X80)#FORUM % BibDraw 2K3ample/TYFE1(5)-1-1-指指微Dpss CMProgram Files (X80)#FORUM % BibDraw 2K3ample/TYFE1(5)-1-1-指指微Dpss | |
| CxProgram Files (x88)#FORUM #BBBDawy24Samplet TYPE I(5)=1-2-時 新鮮語的ass CxPProgram Files (x88)#FORUM 發展的awy24Sample¥TYPE I(5)=1-2-時 新鮮語のass CxPProgram Files (x88)#FORUM 8¥BisDraw24Sample¥TYPE I(5)=1-3-下計構图pss | |
| 4 [| ۲ |
| ▼ 最大の構造体番号・下部構造番号の図面を最後の径間として扱う | |
| 読み込み状況: | |
| 🖌 確定 🔰 取消 🥊 🦿 ハ | /ゴ(H) |

| - | インポート項目の選択 | र | × |
|---|-------------|------------------|-------|
| | 項目名 | インボート | |
| | 写真番号 | する | |
| | 径間番号 | <u>ಕನ</u> 💽 | |
| | 部材名 | する | |
| | 要素番号 | <u>। ব</u> হ | |
| | 損傷の種類 | する | |
| | 損傷程度 | する | |
| | 撮影年月日 | しない | |
| | ХŦ | しない | |
| | | | |
| | ▼ 損傷図に含まれる: | ファイルバスを優先 | |
| | ✔ 確定 | 🗙 取消 🛛 🥐 ヘ | ルプ(日) |



損傷図ファイルを選択し、「確定」ボタンをクリックします。

損傷図から取得した情報から、写真管理ツール側のデータに 反映したい項目を選択します。

| マラス目はアール・法律与其の(2)(は次律 規約支持 110.03) □ □ □ ファイル(と、高茶()) 私会社、ステムに長る(S)、オブション(Q)、ヘルブ(H) □ □ ○ 日 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ 日 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ 日 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ 日 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ ○ 日 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ ○ 日 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | an de service de transmission de la de service de | | |
|---|---|--|---|
| フチフル化(上) 花衣(上) (藤田原花) スナス山(長る)(上) スレション(山) へし/(上) □ (金) 日 (香) (香) (香) (香) □ (金) 日 (古) (古) (香) (香) (〒 - ファイル(指報) □ (金) 日 (古) | ★ 与具管理ツール - 損傷与具.b | pc (国父音 損傷与其 H16.03) | |
| □ ● ● □< | ノアイル(E) 表示(型) 橋梁魚 | 模システムに戻る(<u>K</u>) オノション(<u>D</u>) ヘルノ(<u>H</u>) | |
| 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 | D 😅 H 🖻 🗞 🗃 1 | 2 FB | |
| →+56bmp → -2-70bmp → E: | → → → → → → → → → → → → → → → → → | | E |
| ▼ s-1-1.bmp(C;¥Program Files (x86)¥FORUM 8¥BisDraw2¥5amole¥提供写意¥s-1-1.bmp) | s-2-70bmp | yE: (Jacobi Veronum BelleDrawyzesample¥BZETet+1-1 kmm) | • |

旗揚げで指定した写真情報が連携され、 写真番号自動設定にて損傷旗揚げに写真番号が連動されま

す。



8 調書出力



タンをクリックします。

メニューの写真管理からファイルを開くを選択し、「確定」ボ

| ファイルの場所()): | 🔒 現地状況写真 | i. | * | ← 🗈 💣 📰▼ | |
|-------------|-------------|---------------|---|------------------|----------|
| C. | 名前 | ^ | | 更新日時 | 種類 |
| 最近表示した場所 | 現地状況写真 | l.bpc | | 2010/05/31 22:27 | BPC ファイル |
| | | | | | |
| デスクトップ | | | | | |
| | | | | | |
| ライブラリ | | | | | |
| | | | | | |
| コンピューター | | | | | |
| | | | | | |
| ネットワーク | • | | | | • |
| | ファイル名(N): | | | • | 関((0) |
| | ファイルの種類(工): | データファイル(*bpc) | | • | キャンセル |

「現地状況写真」を選択し、「開く」 ボタンをクリックしま す。

| ■ 写直管理ツール。 現然状況 | REE hor (国交省 理地) が REE H16 03) | x |
|---|---|---------|
| ママイル(E) 事テ(V) 括 | | |
| | | |
| → 347-3 NDEX → 1-60mp → 1-60mp → 1-212bmp → 1-213bmp | | |
| | | * III + |
| j-1-1.bmp (C:¥Program Fi | les (x86)¥FORUM 8¥BISNILIM¥Samples¥現地状況写真¥j-1-1.bmp) | 1 |

写真管理ツールより調書作成に使用する写真を選択します。

| 🚽 写真管理ツール - 現地状況 | 写真.bpc (国交省 現地状況写真 H16.03) | |
|--|---|-------------------------|
| ファイル(F) 表示(V) 橋梁: | 点検システムに戻る(R) オブション(O) ヘルプ(H) | |
| □ 新規作成(N) Ctrl+N □ 開<(0) Ctrl+O □ 開き直す(R) | For a particular (1998) | |
| 閉じる(C) 日本書き保存(S) Ctrl+S 名前を付けて保存(A) インポート(I) | 写其書号: 1 [2間書号: 1 | |
| 読書出力(E) ファイル出力(F) 終了(X) | 線や4月1: 工 火石: | ファイルメニューから「調書出力」を選択します。 |
| | | |
| j-1-1.bmp (C:¥Program File | s (x86)¥FORUM 8¥BISNILIM¥Samples¥現地状況写真¥j-1-1.bmp) | |





- 径間ごとに調書が作成されます。 「印刷」ボタンをクリックすると、F8出力編集ツールが起動
- 「印刷」 ボタンをクリックすると、F8出力編集ツールが起動 し、印刷プレビュー画面が表示されます。

径間ごとに調書が作成されます。 「印刷」ボタンで印刷実行 「保存」ボタンで保存実行 を行います。 ※現地状況写真_点検調書 (その3)を印刷します。



-ファイルメニューから「スタイル設定」を選択します。

| スタイル設定 |
|---|
| 紙サイス 表紙 目次 ページ番号 社名 製品名 日付 枠線 フォント 体裁 |
| 用紙サイズ A4 (210x297mm) ▼ |
| 用紙方向 |
| Cã |
| ○ 横 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| / スタイル設定 参照/保存先 ○ 全製品共通 ● 起動製品固有 |
| 於込 |

|) 新規作成(N) | Ctrl+N | 2 53 | (() ())) =) | | | | |
|---------------------------------|----------------|---|--|--|--------------------------------------|--|--------|
| 済 開<(O) 開き直す(R) | Ctrl+0 | リネーム ファイル参照先 200 ▼ サイズ変更 | | | | | |
| 閉じる(C) | | 出力ファイル名 | 元ファイル名 | フォルダ名 | サイズ | 更新日 | 老 |
| 上書き保存(S) 名前を付けて保 | Ctrl+S 7(A) | INDEX s=1-1bmp s=1-11bmp | s=1=1bmp s=1=11bmp | C#Program Files (x86)#F C#Program Files (x86)#F | 0 KB 362 KB 377 KB | 2008/12/15 | E |
| インボート(I) | • | s-1-13bmp | s=1=13bmp | C-VProgram Files (x86)VF_ C-VProgram Files (x86)VF | 364 KB | 2008/12/15 | L L |
|) 調書出力(E) ファイル出力(F) 終了(X) | | s-1-15bmp s-1-15bmp s-1-16bmp s-1-3bmp s-1-5bmp | s-1-16bmp s-1-16bmp s-1-3bmp s-1-3bmp s-1-5bmp | CWProgram Files (x86)WF CWProgram Files (x86)WF CWProgram Files (x86)WF CWProgram Files (x86)WF | 372 KB 382 KB 372 KB 362 KB | 2008/12/15 2008/12/15 2008/12/15 2008/12/15 2008/12/15 | |
| | | ≤ s-1-9bmp < | s-1-9bmp | C#Program Files (x86)#F_ | 366 KB | 2008/12/15 | t, |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

用紙方向は、ファイル→スタイル設定→用紙サイズ→用紙方向 ⇒横としてください。 (Q2参照)

https://www.forum8.co.jp/faq/win/koku-bridgemetenance. htm#q2

同様の手順で「損傷写真」フォルダから調書に必要な写真を 選択し、

- 「調書出力」を実行します。 調書は径間ごとに調書が作成されます。



同様の手順で「損傷写真」フォルダから調書に必要な写真を 選択し、 「調書出力」を実行します。 調書は径間ごとに調書が作成されます。

「印刷」 ボタンで印刷実行 「保存」 ボタンで保存実行 を行います。 ※損傷写真_点検調書 (その6)を印刷します。

9 3DView

入力された橋梁情報(躯体数、径間数、形状寸法など)の全体を3次元表示します。 簡単なマウス操作で視点を変えることが可能です。

構造体 A1



構造体 P1







マウス左ボタンで視点が回転します。

第3章 Q&A

01 橋梁点検支援システムと橋梁点検支援システム(国総研版)との相違点は何ですか

A1 下記に要点を整理ますので参考にして下さい。

■<橋梁点検支援システム>

【概要】

「橋梁定期点検要領(案)(平成16年3月)国土交通省道路局国道・防災課」に準じ、定期点検業務での近接目視によ る損傷状況の把握、対策区分の判定、及びそれらの結果を記録して、橋梁単位での損傷情報を一括管理する橋梁点検支 援システム

【調書出力】

- ・橋梁の諸元と総合検査結果 (点検調書(その1))
- (点検調書(その2)) ・径間別一般図の自動作画
- ·現地状況写真印刷 (点検調書(その3))
- ・要素・部材番号図面の自動作画(点検調書(その4))
- ・桁下面図、橋面図、下部構造展開図面の自動作画
- ・損傷パターン・旗揚げの作画機能と損傷図面の出力(点検調書(その5))
- ・写真管理機能 (属性情報付加) と損傷写真印刷 (点検調書(その6))
- ・損傷程度の評価記入表印刷 (点検調書(その7,8,9))
- ・対策区分判定結果表印刷 (点検調書(その10,11))

※損傷情報をCSV形式ファイルに出力可能

■<橋梁点検支援システム(国総研版)> 【概要】

「橋梁点検支援システム」の全機能を継承した「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)(平成19年5月)国土交通省・ 国土技術政策総合研究所」専用の橋梁点検システム 【調書出力】

- ・「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」に準じた橋梁諸元(様式1) ・「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」に準じた調査結果(様式2)
- ·指傷展開図
- ・現地状況写真および損傷写真

02 写真管理ツールで、調書出力時にプレビューされる写真が所定の用紙枠内に位置していない場合の対処方法について

- 出力時の用紙サイズについて横位置を前提としていますので、プレビュー状態で|ファイル|スタイル設定|で「用紙サイズ A2 =横」に変更し、確認してみて下さい。
- 03 橋梁点検支援システム(国総研版)から、どの点検データを「橋梁長寿命化プログラム」へ連携できるのか
- 現在は、保存データファイル*.FB6の中から橋梁諸元データを中心に、次のデータ項目が連携可能です。 A3 ・路線名、・橋梁名、・上部工構造形式、・架設年次、・橋長、・最大支間長、・径間数、・幅員、・主桁本数

04 【写真管理ツール】 写真の調書フォーマットに追加情報を出力したい。例えば、写真の下に注釈情報を入れる等。

- 写真の調書フォーマットは内部固定のため編集できません。申し訳ありませんが、一旦調書出力頂き、エクセル等にて編 A4 集して頂きます様お願い致します。
- 【適用条件・制限条件】 05 点検の結果、早急な対策が必要等の根拠を示す、第三者被害判別の機能はあるか
- A5 現在、「第三者被害判別の機能」は備えていません。
- 損傷程度の評価a~e、有/無の判定は自動処理されるのか 06
- A6 損傷程度の評価a~e、有/無の判定につきましては、プログラム内での自動判定はサポートしていません。お手数ですが 点検技術者側で判断し設定していただきます様お願い致します。

Q7 【調書出力】 橋梁IDを調書出力できるか

A7

最新の橋梁定期点検要領(H26.6)では、調書出力に橋梁IDの記入欄が追加されています。しかしながら、本プログラムは 道路橋に関する基礎データ収集要領(案)H19.5 に準拠のため「橋梁ID」自体の出力欄はありません。そこで、橋梁IDは 次のようにコメント欄に入力することでの代用をご検討頂ければと思います。 基本条件-業務情報にて、「橋梁名」欄の後半、または、「所在地」欄、「距離標」欄等を利用して、任意の文字列(橋梁ID=半角18文字)を入力することをご検討ください。 橋梁ID=緯度(十進数)##.#####,経度(十進数)###.##### の半角18文字列です。 例えば、 北緯 43度 10分 54.00秒 43 + 10/60 + 54.00/60/60 = 43.181666 → 丸め 43.18167 東経 141度 19分 32.00秒 141 + 19/60 + 32.00/60/60 = 141.325555 → 丸め 141.32556 以上より、

橋梁|D=半角18文字="43.18167,141.32556"の文字列を入力

- Q8 写真管理ツールで、途中で写真を追加したり、削除したときのナンバリングは、自動的に図面と連携されるか
- A8 申し訳ございませんが自動的には更新されません。 別途修正いただく必要があります。

Q9 データをDXF、DWC、SFCで出力できるか

- A9 生成した「損傷展開図」は、「DXF、DWG形式」や「SFC、P21形式」のファイル出力が可能です。
- Q10 写真管理ツールの起動方法を教えてほしい
- A10 国総研版の場合は、メイン画面の下から2つ目「写真管理」から起動してください。

Q11 作画した損傷パターンの編集方法を教えてください

A11 レイヤ変更メニューから旗揚げレイヤを選択し、図形を選択した後、編集メニューにより行ってください。

Q12 作画した絵柄は図面出力できるか

A12 下記のファイル保存が可能です。

 (1)UC-Drawファイル(拡張子:PSX)
 (2)SXFファイル(拡張子:SFC, P21)
 (3)DWGファイル(拡張子:DWG)・DXFファイル(拡張子:DXF)
 (4)JWWファイル(拡張子:JWW)・JWCファイル(拡張子:JWC)

Q13 一般図を作図するなど、UC-Drawと同様の汎用CAD機能も使用できるか

A13 「UC-Draw」と同様の汎用CAD機能を実装しておりますので、一般図の作図など任意の加筆・編集を行うことができます。

Q14 損傷パターンの登録・編集は可能か。

A14 下記の手順にて可能です。 <手順> 1.メイン画面の[橋梁点検]メニューー[橋梁点検設定]をクリックします。 2.[損傷パターン登録]ボタンをクリックします。

Q15 作図した図面をDXF、DWG形式保存できるか

 A15
 可能です。

 [ファイル]メニューの「DWG・DXFー括出力」より保存ください。

Q16 作成した損傷旗揚げの文字を変更する方法について

A16 「橋梁点検」-「損傷図作画」-「旗揚げ作画」画面を開き、変更したい旗揚げを選択した後、「損傷旗揚変更」画面で変 更してください。 なお、「損傷旗揚変更」画面を使用せず任意の文字列変更を行う場合には、変更したい旗揚げを選択した後、[編集]-[文 字列]-[文字列変更]で変更してください。

Q17 作成した損傷旗揚げの文字サイズを変更する方法について

- A17 変更したい旗揚げを選択した後、「橋梁点検」-「橋梁点検設定」-「旗揚げした文字の属性を変更]-「文字1」画面で 変更してください。
- Q18 ひとつの要素から2つ以上の旗揚げは可能か
- A18 可能です。 一つ目の旗揚げ処理した後に、同様の操作で同じ要素から旗揚げ処理を行って下さい。

Q19 ファイル名を一括で写真番号にリネームすることは可能か?

A19 連番リネーム機能を利用することで可能です。 下記の手順にてお試しください。

1.[表示]メニューの「詳細」をクリックします。
画面上段に(上下2分割の場合)エクスプローラと同様な一覧が表示されます。
2.Windowsと同様の操作にて、ファイルを全て選択します。
3.右クリックし、ポップアップメニューより「連番リネーム」を選択します。
4.[出力ファイル名の変更]画面にてファイル名他を設定します。
詳しくは、ツールヘルプの操作方法一標準的な処理の流れ一ファイルの登録一出力ファイル名の変更をご確認ください。

Q20 写真管理ソフトでは通しで番号や属性を1つ削除すると番号や情報は自動的に変更されますか?

A20 写真を削除した時点では番号は自動的に変更されませんが、写真番号のふり直し機能を使うことで、全体を連番にすることができます。

Q21 旗揚げ情報の旗揚げ線の距離や位置を修正できるか

A21 「損傷旗揚げ」の位置等の編集は、「損傷旗揚げ」選択時に表示される「ハンドル(水色の□)」の操作できます。 <手順>

1. 編集する「損傷旗揚げ」をマウス左クリックで選択。

- ・「損傷旗揚げ」は選択色に変更されます。
- 2. 目的のハンドル (水色の口) をマウス左クリックで選択。
 - ・矢印位置
 ・ 引出始点の移動
 ・文字列表示位置の線分始点
 ・表示部始点の移動
 - ・文字列表示位置の線分終点 : 表示部終点の移動
 - ・文字列表示位置の線分中点 : 表示部全体の移動
- 3. 移動したい位置をマウス左クリックで確定

Q22 諸元や損傷図の入力なしで、その3の入力のみは可能か?

 A22
 可能です。

 メイン画面ツリーの写真管理より操作を行ってください。

Q23 手作業で点検調書を作成する場合と比較して、どの程度の効率化が図れるかを教えてほしい。

A23

本製品は、弊社2次元土木用汎用CAD「UC-Draw」をベースに開発された製品で、汎用CAD機能を保持しながら、橋梁 点検作業に必要な調査図面(要素・部材番号図、損傷展開図)の自動作成、点検結果による損傷状況を記録した損傷図 を作画し、図面上に作画した損傷情報を抽出して各種点検調書を自動作成できます。 損傷パターン

点検要領に従った「ひびわれ/剥離/鉄筋露出/遊離石灰/腐食/漏水/その他」を、簡易なCAD操作で作画できます。

損傷旗揚げ

各図面に自動作図で生成された要素番号文字を選択し、点検要領に従った損傷の評価区分一覧表示から損傷情報を 選択する方式で、旗揚げ文字を自動生成できます。

各調書

各図面で作画した損傷旗揚げから損傷情報をプログラム内部で自動で収集して、調書作成します。 各種図面

「損傷図」は、SXFファイル(.SFC、.P21) へ出力することができます。

Q24 全体図、一般図に利用可能なファイル形式を教えてほしい

A24 下記形式のファイルが利用可能です。

 (1)JPEGイメージファイル(.jpg、.jpeg)
 (2)ビットマップファイル(.bmp)
 (3)アイコン(.ico)
 (4)エンハンスメタファイル(.emf)
 (5)メタファイル(.wmf)

Q25 作成した損傷旗揚げの文字を変更する方法について

A25 変更したい旗揚げを選択した後、[損傷旗揚変更]ボタンをクリックし[損傷旗揚げ情報設定]画面で変更してください。 なお、「損傷旗揚変更」画面を使用せず任意の文字列変更を行う場合には、変更したい旗揚げを選択した後、[編集]ー[文 字列]ー[文字列変更]で変更してください。

Q26 写真管理ツールにて損傷図から損傷情報を取得することは可能か。

- A26 可能です。 生成した損傷図ファイル(*.pss)より各種情報を取込みます。 詳しくは、写真管理ツールヘルプの[操作方法]-[標準的な処理の流れ]-[インポート]-[損傷図から損傷情報取得]をご確 認ください。
- Q27 設定した業務情報を再利用することは可能か。
- A27 可能です。 業務情報右下の[出力]ボタンより保存いただき、[読込]ボタンより当該の業務上を読込むことができます。

Q28 手書き図をトレースして損傷図を作成することは可能か。

 A28
 可能です。

 編集 - ラスター添付 - クリップボードよりファイルを読込んでください。

 クリップボードより貼付

 ペイント等で画像を読み込み、選択、コピーで画像データをクリップボードにコピーしてからコマンドを実行します。

 ファイルよりより貼付

 コマンドから画像ファイルを選択し貼付けを行います。

 貼り付けの対象となるラスターファイルは以下の通りです。

 ビットマップファイル(拡張子: bmp)

 JPEGイメージファイル(拡張子: jpg, jpeg)

 TIFFイメージファイル(拡張子: tif, tiff)

 なお、トレース用の画像サイズは調整いただく必要があります。

- Q29 レイヤ属性など作図条件を設定するこは可能か。
- A29 可能です。 メイン画面の[基準値]メニューー[図面作画条件]より設定してください。

Q30 写真管理ツールとの連動時にインポートする業務上の取捨選択は可能か。

 A30
 可能です。

 インポート時に[インポート項目の設定]画面より選択いただけます。

Q31 旗揚げの色を損傷の種類ごとに色分けしたいが可能か。

- A31 可能です。 当該の旗揚げを選択し、[橋梁点検]メニューから[橋梁点検設定]をクリックし、[橋梁点検設定]画面の「旗揚げした文字の 属性を変更」 ボタンより設定ください。
- Q32 写真管理ソフトでは通しで番号や属性を1つ削除すると番号や情報は間詰めされるか。
- A32 写真を削除した時点では番号の間詰はなされませんが、写真番号のふり直し機能を使うことで全体を連番にすることが可能です。
- Q33 旗揚げした文字属性の変更は可能か。
- A33 可能です。 対象の旗揚げを選択し[橋梁点検]メニューの[橋梁点検設定]より「旗揚げした文字の属性を変更」ボタンをクリックしてく ださい。

Q&Aはホームページ (https://www.forum8.co.jp/faq/win/koku-bridgemetenance.htm) にも掲載しております

橋梁点検支援システム(国総研版) 操作ガイダンス

2022年 9月 第9版

発行元 株式会社フォーラムエイト 〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F TEL 03-6894-1888

禁複製

お問い合わせについて

本製品及び本書について、ご不明な点がございましたら、弊社、「サポート窓口」へお問い合わせ下さい。 なお、ホームページでは、Q&Aを掲載しております。こちらもご利用下さい。

> ホームページ www.forum8.co.jp サポート窓口 ic@forum8.co.jp FAX 0985-55-3027

橋梁点検支援システム(国総研版)

www.forum8.co.jp